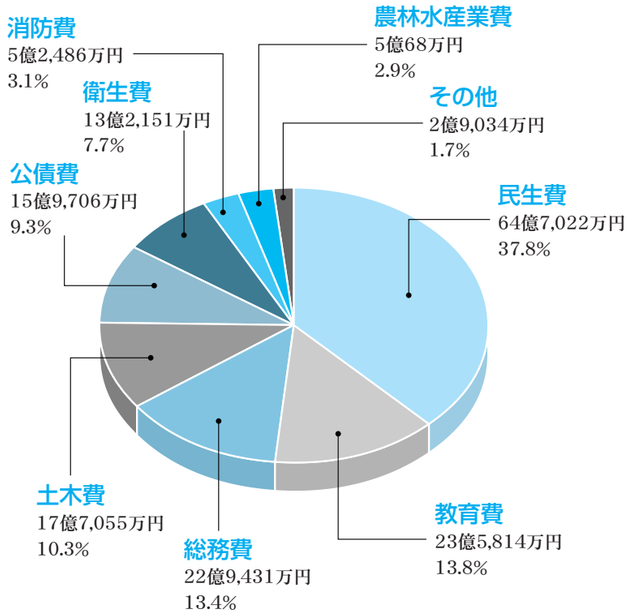
平成22年度 合志市 一般会計歳入・歳出決算

歳入181億　440万円（対前年度比　8億7.874万円の増）
歳出171億2,771万円（対前年度比　5億6,485万円の増）

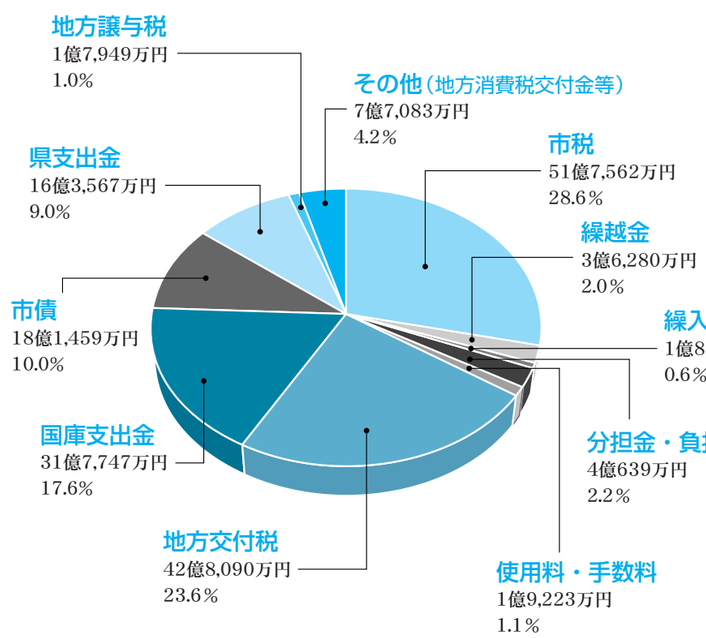
「私たちの税金はどのように使われたのか？」

（グラフの金額は、1万円未満を切り捨てております）

歳出



歳入



監査委員の意見書（要旨）

22年度の一般会計の決算は、前年度に比べ歳入・歳出ともに大きく膨らんだ結果となっています。

歳入に関しては、地方交付税と市債の増加が影響し、前年度に比べ、8億7000万円程増額。これは法人市民税はじめ、税収が減少しているものの、地方交付税が前年度比10億円余りの増額、また市債の特に臨時財政対策債の増加を理由としたものです。

歳出に関しては、前年度に比べ5億6000万円程増加しており、これは民生費が13億7000万円余増加、教育費も2億3000万円余増加しており、加えて子ども手当の新設、生活保護費・保育所整備関連経費等の増加によるものです。

経常収支比率は、84・4％と前年度より11・4ポイント向上しています。本年度は、扶助費が増加しているものの、それ以上に地方交付税の収入が上回ったことによるものです。また財政力指数は0・69と前年度より、若干低下しています。これは市民税が前年度に比べ、減少したものが原因です。

今後の留意点について（主なもの）

・財政の健全運営を期すため、歳出の抑制、基金の備蓄を積極的に進めること。

・安易な不納欠損を出さず、真摯な徴収努力を強く望む。

・市補助金については、精査し、適正な運営監督を望む。

・予算執行については、予算編成時における計画性の更なる向上に努めること。

9月定例会は8月30日から9月20日までの22日間の会期で開催しました。23年度一般会計及び各特別会計補正予算関係や合志市部設置条例の一部を改正する条例など議案14件、22年度各会計決算の認定9件、報告案件1件など合わせて24件が上程されました。

また、請願・陳情について2件を審議しました。

執行部提出案件は、全議案を可決し、請願・陳情2件も採択しました。

最終日に、議案3件、報告案件8件及び議員提出議案「国民健康保険の国庫負担率割合の改善を求める意見書」など5件が追加提出され全件可決となりました。

また、継続審査となっていた請願4件について、1件は採択、1件が継続審査となり、2件は取り下げ依頼がありこれを承認しました。

一般質問は12人が市政に関する問題を質問しました。

平成23年度第3回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
8	30	火	本会議	市長提出議案上程及び説明
9	5	月	本会議	質疑、委員会付託
	6	火	常任委員会	付託事件の審査
	7	水		
	8	木		
	9	金		
	13	火	本会議	一般質問
	14	水		
	15	木		
	20	火	本会議	委員会報告（質疑、討論、表決）

23年度 一般会計補正予算

主なもの

◎ 須屋市民センター増築工事設計委託
200万円

◎ 泉ヶ丘体育館改修工事等
3,455万円

◎ 学校教育費 各種大会等出場補助金
342万円

条例改正

合志市部設置条例の一部改正

市役所の組織の見直しが行われました。来年4月からの実施となります。

合志市税条例の一部改正

市民税の寄付金税額控除適用下限額の引下げ、市民税等に係る不申告等に関する過料の引き上げ、証券優遇税制の延長が行われます。

合志市職員の育児休業に関する条例の一部改正

合志市非常勤職員の育児休業などの取得を可能とするための改正です。

その他にも5つの条例改正が行われました。